

タイ王国コンケン大学医学部 Raynoo Tanan 講師が「タイ肝吸虫による胆管癌の発症」に関する研究打ち合わせに来学

川西正祐（薬学部教授、大学院薬学研究科長）

昨年 10 月にタイ王国コンケン大学医学部と本学薬学研究科は、教育・研究連携に係る協定（MOU）を結びました。2017 年 6 月 14 日に、コンケン大学の Raynoo Tanan 講師（平成 21 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日まで本学薬学科で非常勤助手として勤務）が、研究打ち合わせのため本学を訪問しました。

本学からは看護学科の馬教授、薬学研究科の川西教授と大西助教が研究打ち合わせに参加し、共同研究である「タイ肝吸虫による胆管癌の発症」に関する研究の今後の進め方について話し合いました。この研究は炎症関連発がんのモデルになり、ヘリコバクター・ピロリ菌による胃がん、B 型・C 型肝炎による肝臓がん、アスベストによる中皮腫などの炎症関連発がんの発症機序の解明に役立つものです。

本学は東南アジア地域においてもこのような国際交流活動をすすめ、今後もタイとの教育及び研究分野での協力強化を推進して行きます。



写真 1. 本学訪問時の Raynoo Tanan 講師（写真中央）と、川西教授（左）、馬教授（右）。（2017 年 6 月本学白子キャンパスにて）



写真2. 川西研究室にて (2017年6月). Raynoo Tanan 講師 (前列左)、川西教授 (前列右)、馬教授 (後列左)、大西助教 (後列右)